

Improve your odds with Infosys Predictability



Right Questions

Business Insights

Integrated Solutions

Value Multipliers

インフォシス テクノロジーズご紹介

2007年 3月

インフォシス テクノロジーズ

会社概要



VISION

テクノロジーを活用し、最高クラスの人材による最適なビジネスソリューションを提供して、世界で尊敬される企業を目指します。

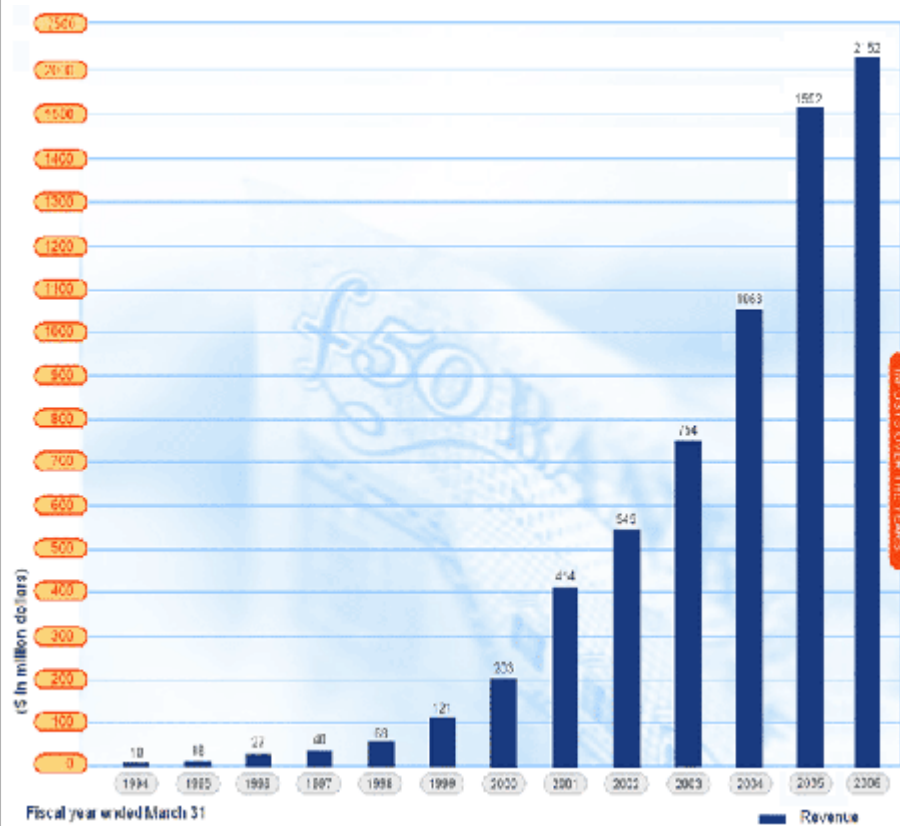
名称	Infosys Technologies Limited インフォシス テクノロジーズリミテッド	
所在地	本社	Electronics City, Hosur Road Bangalore 560 100
	東京事務所	東京都港区六本木1丁目6番3号 泉ガーデンウイング2階
創立	1981年7月2日	
会社設立の準拠	インド共和国会社法	
事業内容	ITコンサルティング及びソフトウェア 開発	
代表取締役社長	ナンダン・M・ニレカニ(CEO)	
日本支店開設	1997年 代表:宇佐美 耕次	

売上高	2,525億円(2006年3月期末)
営業利益	703億円(2006年3月期末)
当期利益	651億円(2006年3月期末)
従業員数	69,432名 (2006年12月末 子会社含む)
時価総額	2兆6,851億円 (2006年3月末)
株主	外国機関投資家: 39.74% 創業者持株会: 22.02% Indian Public: 16.4% American Depositary: 7.92% 従業員: 4.92% 他

成長性

2001～2005年の成長率は、売上高379%、純利益295%。
インフォシスは1981年設立以来確実な成長を遂げています。

●インフォシスの売上高推移



●地域別売上高(2005年度)

地域	売上比率
北米	65%
欧州	22%
アジア・太平洋 (含む日本)	11%
インド	2%

●業種別売上高(2005年度)

地域	売上比率
銀行及び金融	35%
通信	18%
製造	14%
小売	10%
物流	8%
エネルギー及び公益事業	3%
その他	12%


●サービス別売上高(2005年度)

地域	売上比率
保守	30%
システム開発と再構築	29%
パッケージ導入	15%
テスト実施	10%
コンサルティング	4%
BPM&その他サービス	16%

グローバル戦略



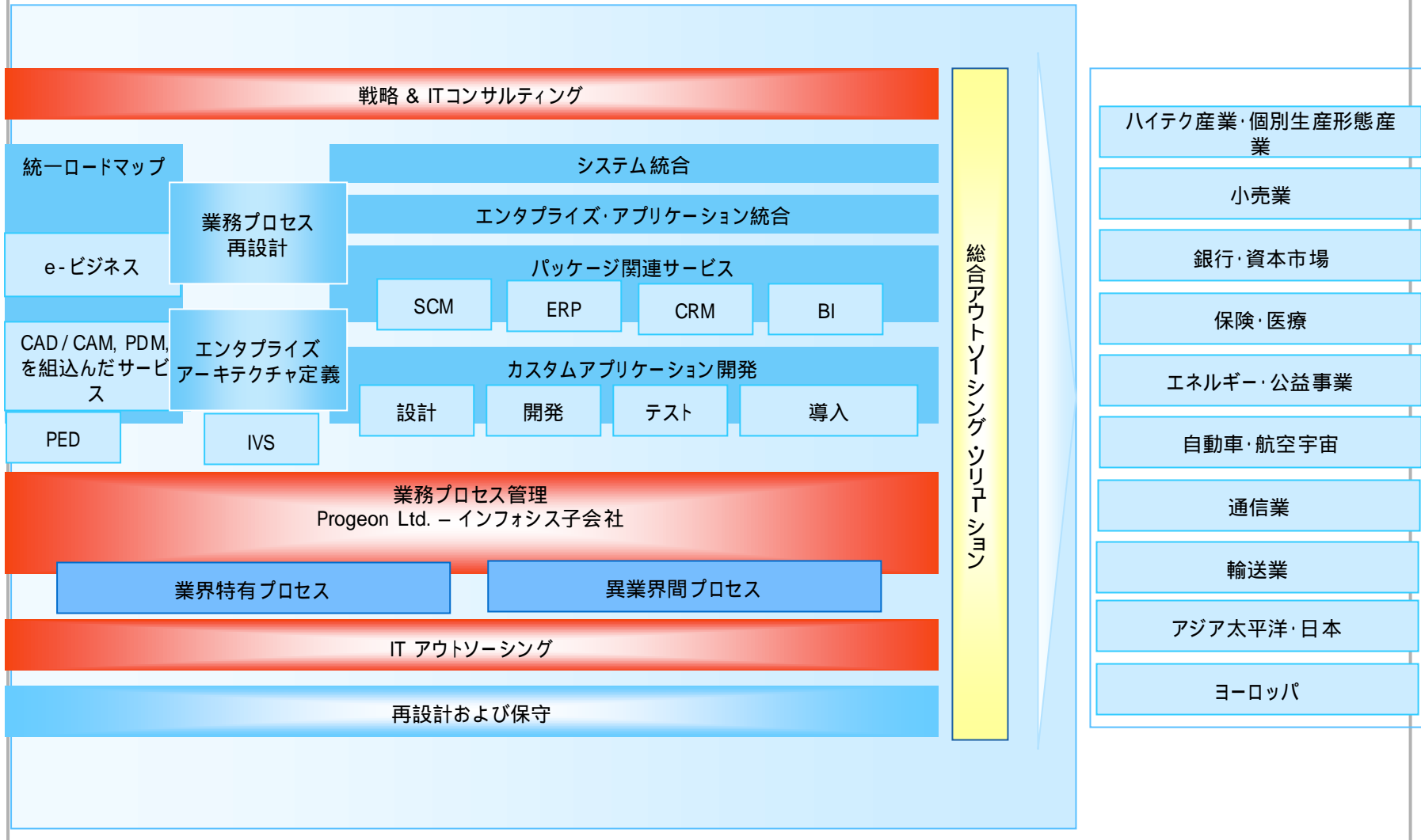
- » 17ヶ国45の都市に及ぶグローバルな拠点展開
- » 21億米ドル収益-3月2006と、年49%の成長率
- » 米国における収益が全体の65%弱。アジア太平洋地域の市場における確固たる地位と、同市場に対する適切な理解
- » テクノロジ対応のビジネス変革に向けた顧客とのパートナー提携
- » 実績のあるリソース増加により、顧客のニーズを満たす
- » 高い顧客満足度: 収益の95%超がリピーター(2006年3月)
- » 顧客の内、42社がFortune 100社(顧客総数は460社(第3四半期))
- » 従業員: 69,600人以上
- » 多数の品質基準: CMMi 5、PCMM、Six Sigma、BS7799、AS9100の認定書等
- » 商慣習、財務管理および技術専門知識について世界的に認知されている



最高の人材によって実現される最高レベルの技術を活用し、最善のビジネスソリューションを提供して、世界中で尊敬される企業を目指します。

ビジョン

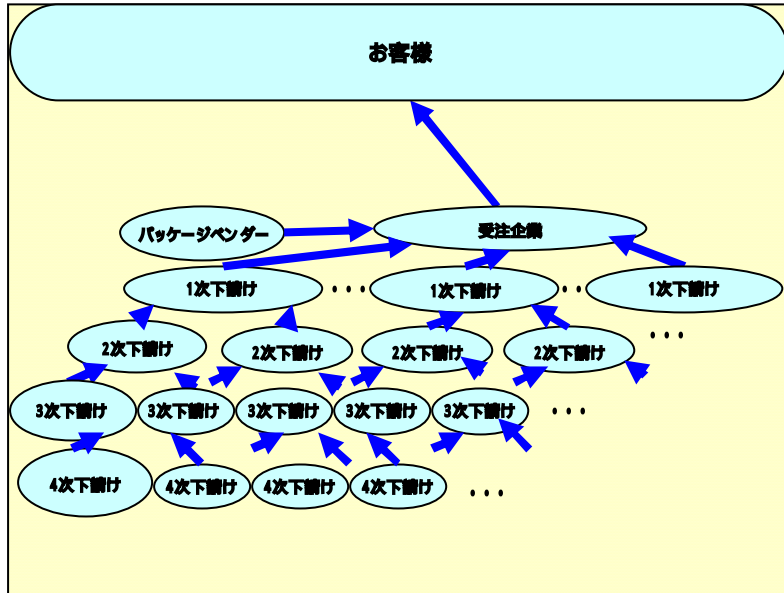
サービスマイン



インフォシステクノロジーズは
ITイノベーションを支える頭脳集団です

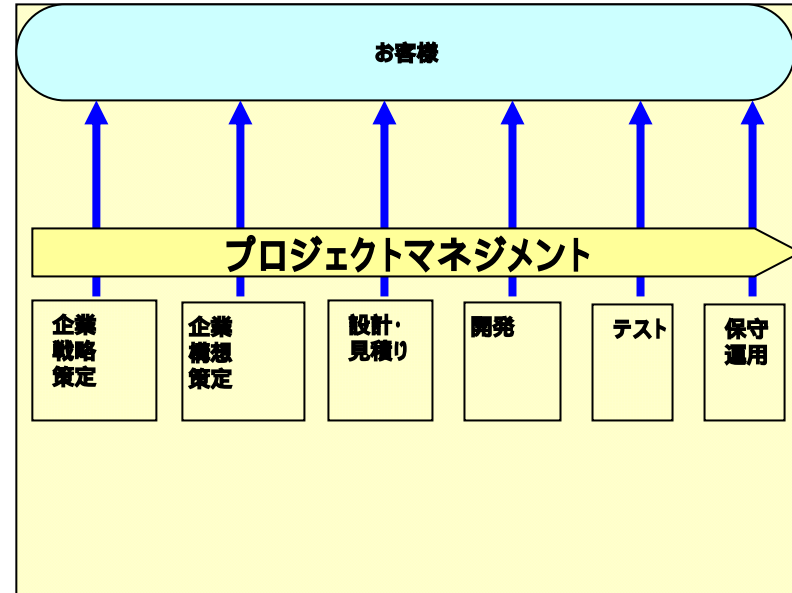
InfosysはSW エンジニアリングで日本を変革します。

他のインド / 中国 / 日本のIT企業



- ・お客様の声が各ベンダーに正確に伝わらない
- ・お客様から見て各ベンダーの業務内容、責任が不明確
- ・プロジェクトチーム内での各ベンダー間での調整作業が増える

インフォシスのモデル

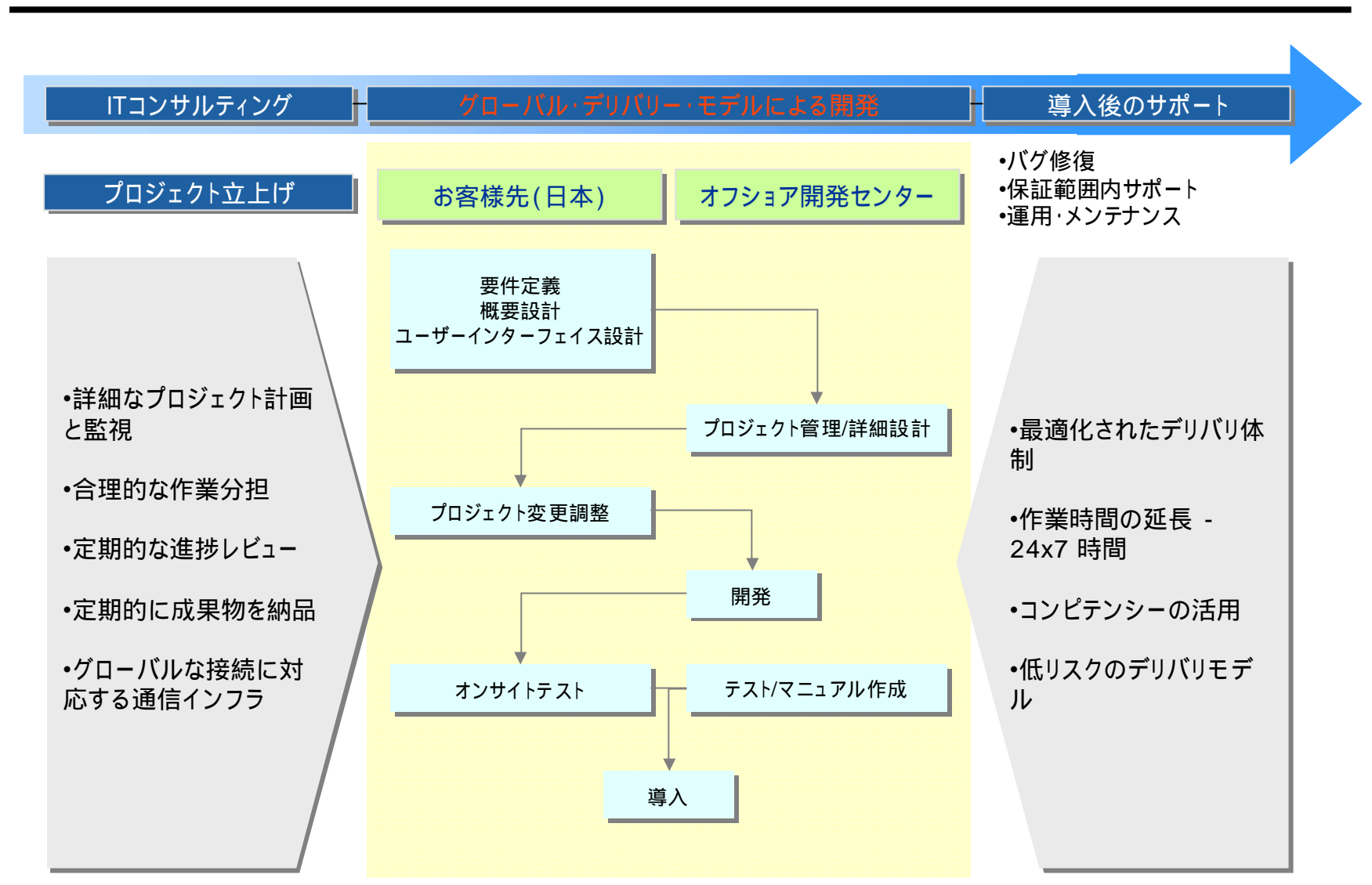


- ・全工程を通して、お客様との密接なコミュニケーション
- ・CMMレベル5に準拠したプロジェクトマネジメントによりリスク低下
- ・GDMを用いた開発手法で高品質かつ正確な納期

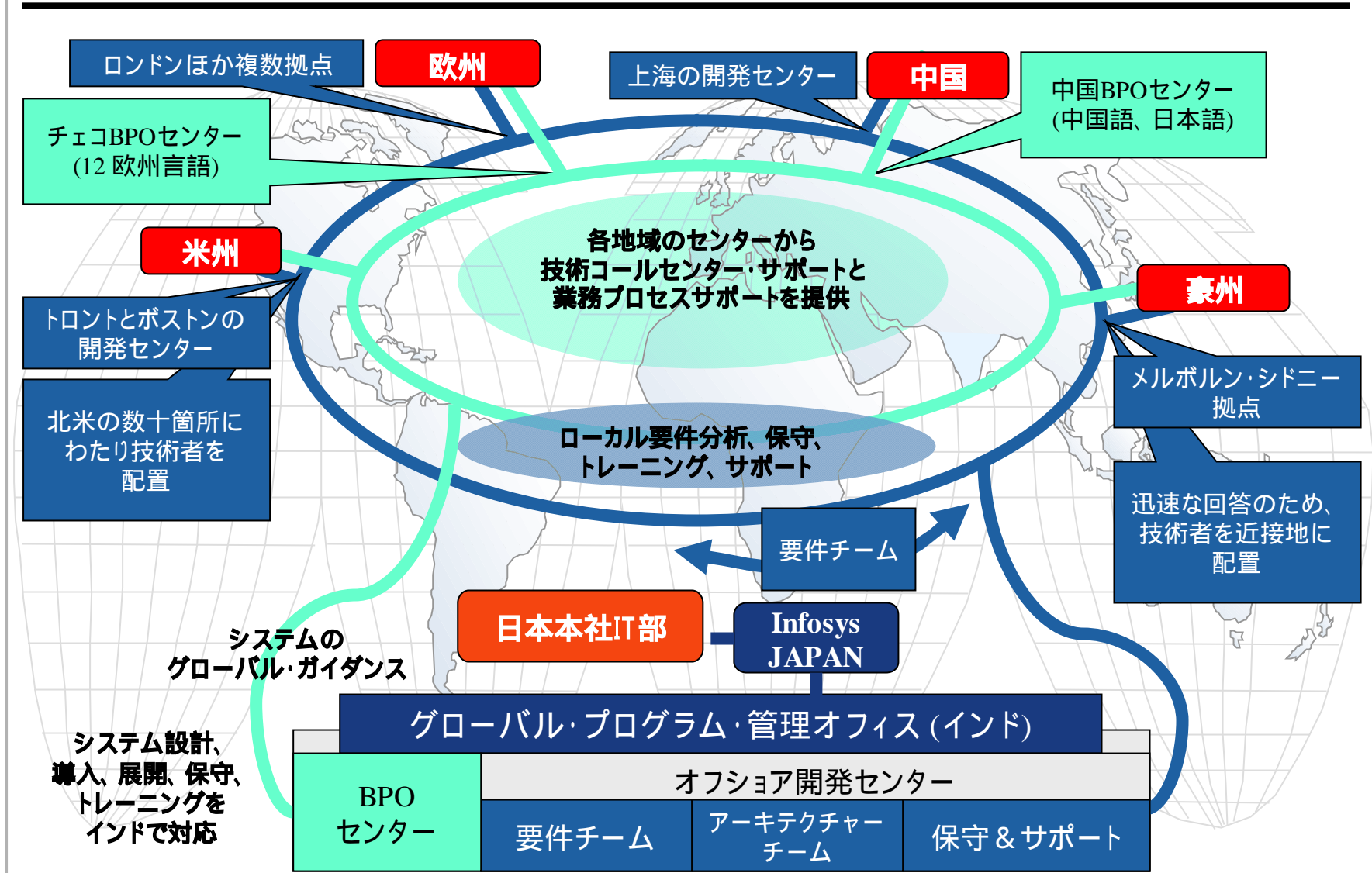
Infosysが日本で提供する技術

1. GDM / Hub & Spoke
2. **開発 / 運用 管理メソドロジー**
3. **ストラクチャードからOOへのモダンナイゼーション**
4. Skilled / Resource とBest of Breed Solution
 - Global Base
 - Flating World

Infosysの日本市場への価値の提供-GDM

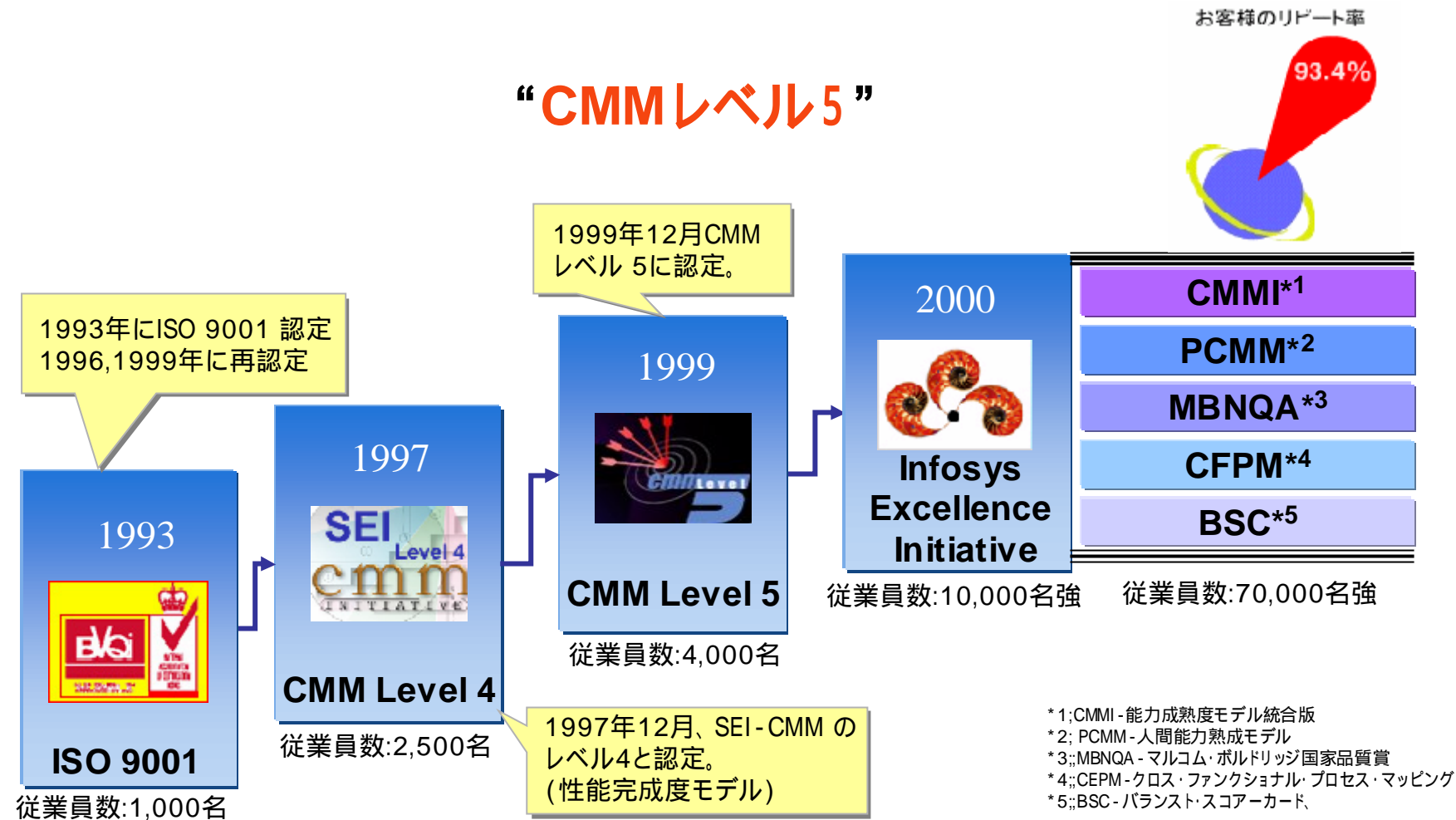


インフォシスによるHub & Spoke グローバル支援(例)



Infosysの日本市場への価値の提供-メソドロジーと品質

インフォシスではソフトウェア品質や開発プロセスにおける全社的な取組みを進め、ソフトウェア開発におけるベストプラクティスを確立し、お客様のリピート率を達成しています。



日本の将来のIT市場とInfosys

人口問題

- 1 就労人口の激減
- 2 インドITの利用

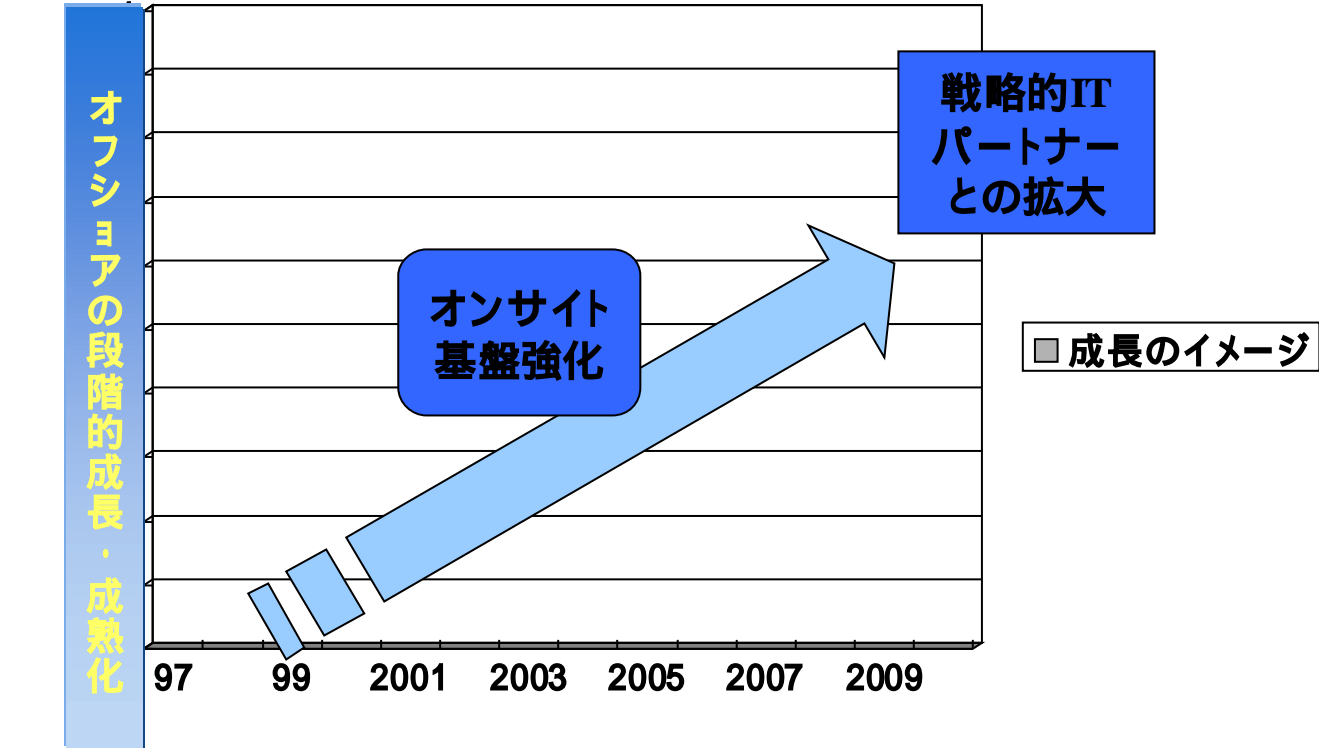
IT子会社 問題

- 1 ビジネスモデル・イノベーション
- 2 団塊の世代の定年退職

グローバル 支援

- 1 英語問題
- 2 世界共通ビジネスモデル支援

Infosys日本オフィスビジネスの成長(イメージ)



1997 - 2000: 市場の理解
2000 - 2005: 市場参入の為の基礎づくり
2005 - 2010: 本格的市場参入

人口問題(Numbers GAP)

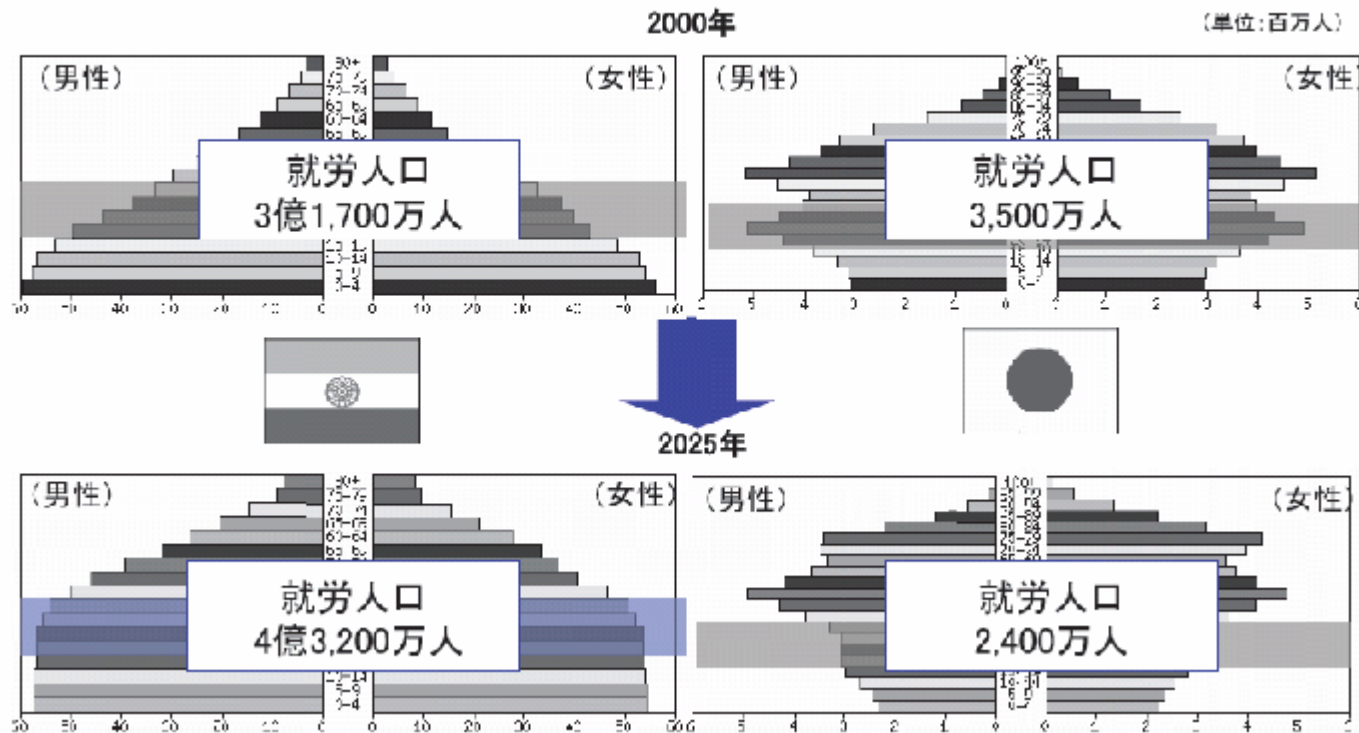
2020年 就労人口の中でも最も若い層である20才～24才の人口

インド 1億人 VS 日本 600万人 (100:6の比率)

2100年 日本の人口は現在の半分(6400万人)

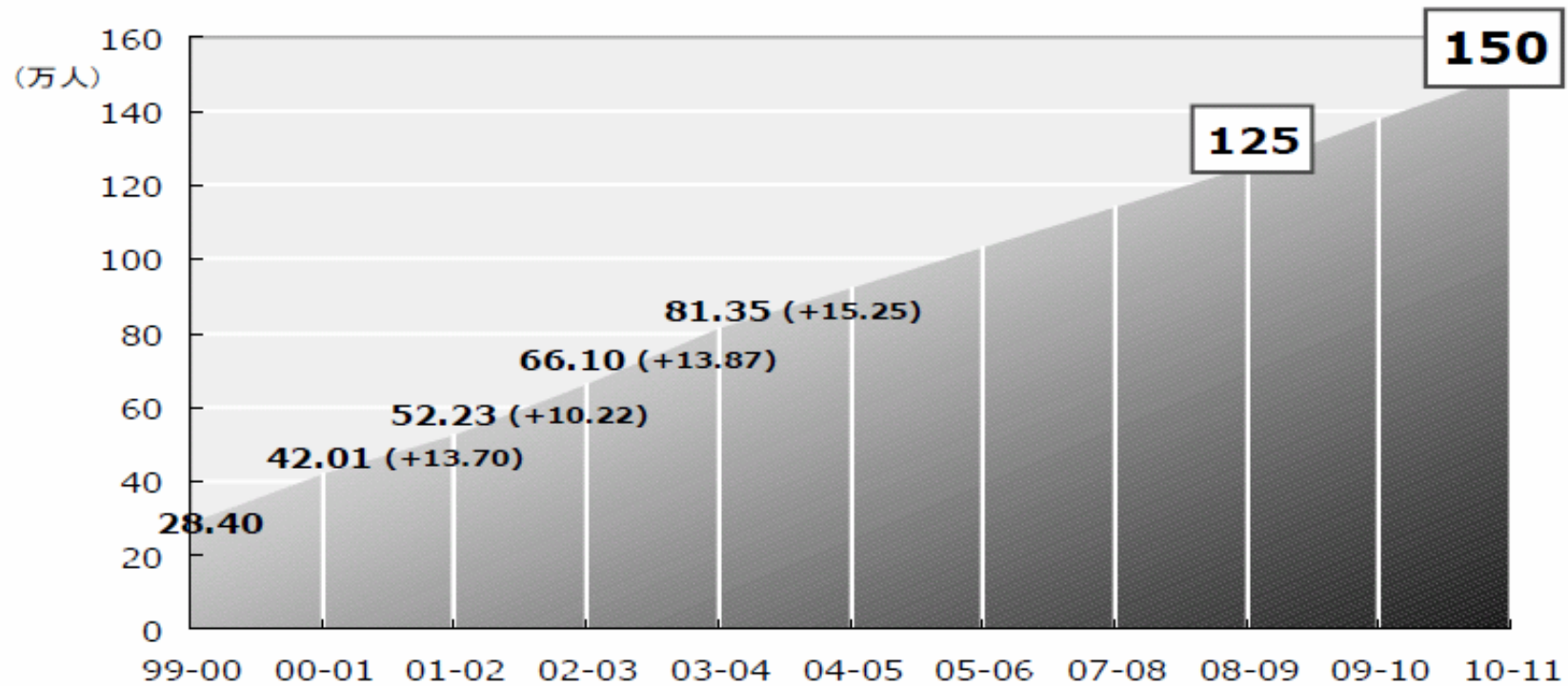
米国でも科学者やエンジニアがリタイアしてアジア人になる。

インドの就労人口(20～39歳)は2025年には4億3,200万人に

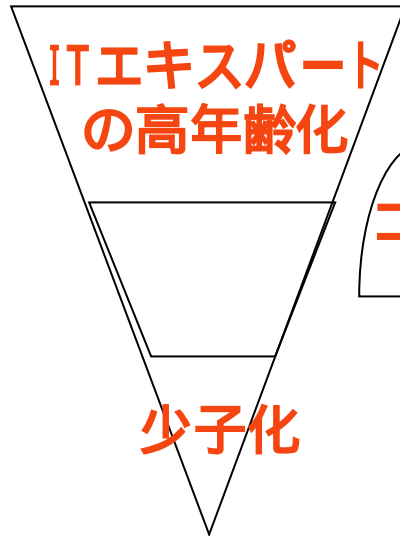


インドITによる日本企業支援の可能性

■ 2010年にはIT技術者は150万人に



日本のIT子会社の問題とInfosys



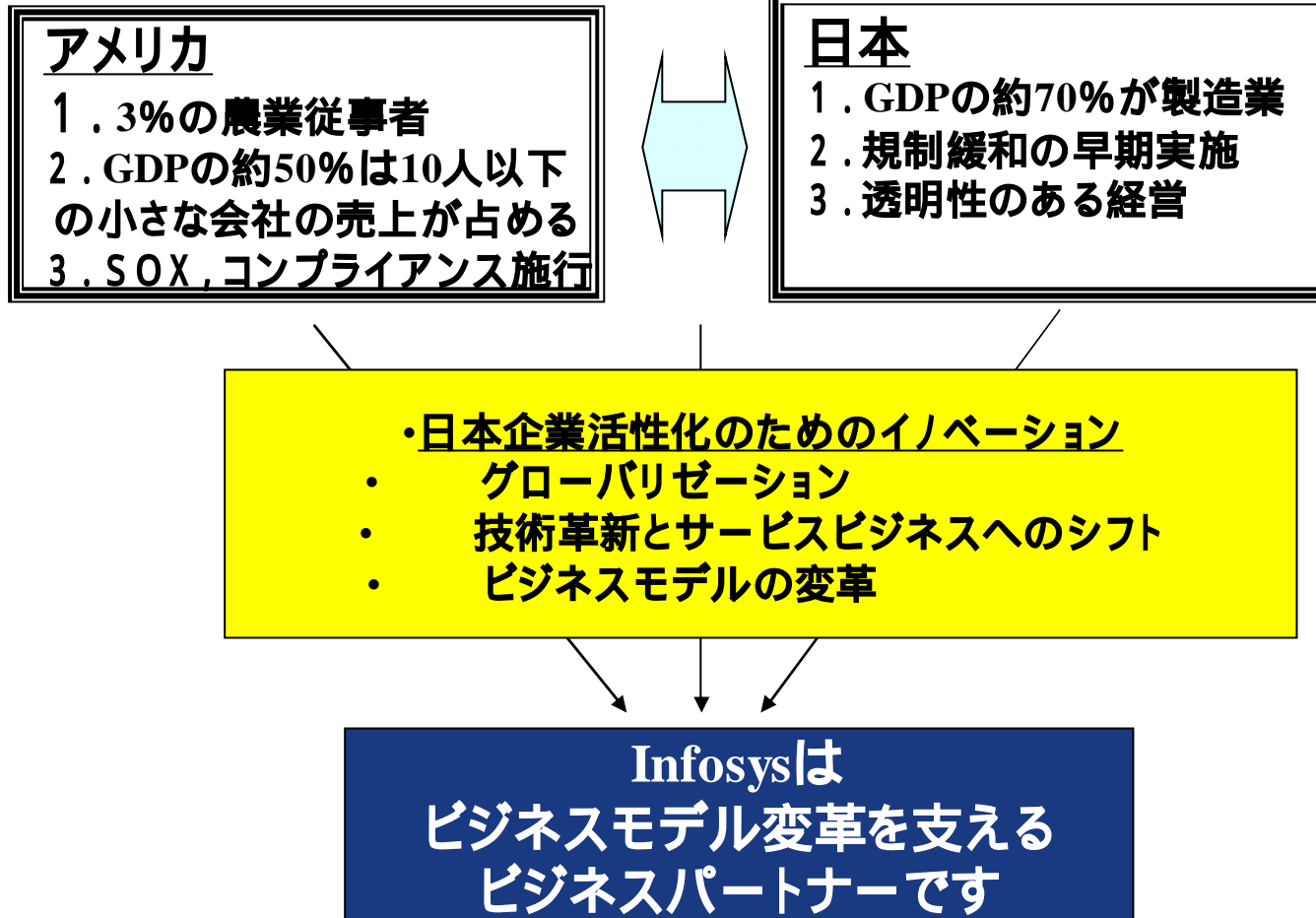
ハイレベルのビジネスモデル業務
開発・設計IT専門業務
テスト・運用・保守

IT子会社の年齢構成

インフォシスの年齢構成

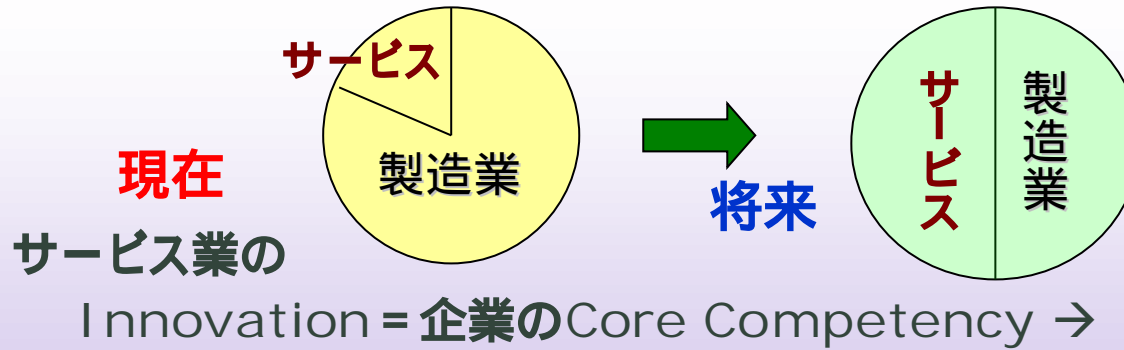
適正な業務層

Infosysは日本経済のイノベーションを 支えるビジネスパートナーです



業務Application にFocus

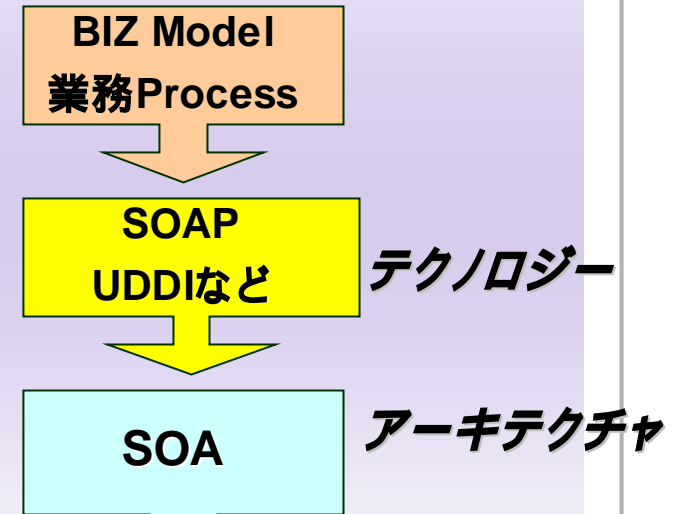
日本のGDP



サービス業の

Innovation = 企業のCore Competency →

世界共通のコモディティー化
業務プロセスの利権化



日本のIT業界を支える唯一のパートナーとなる

- **ゼネコン型SIからS/WエンジニアリングベースのIT産業へ
ストラクチャード開発手法からO.O開発手法へ
(Legacy Infra Trend Infra)**
- **業界で共通のメソドロジーを利用しIT技術者のモチベーションを図る
個別メソドロジー 共通メソドロジーの利用
(ベンダー別・IT子会社別 日本の技術者共通)**
- **SKILLと人材の育成**
 - **S/W VendorのAssetはSkillが前提**
 - **インドの150万人のIT技術者(内7万人はインフォシス)**
 - **180億円/年' の教育費、マイソールでの一度に4500人の教育施設**

Improve your odds with Infosys Predictability



Right Questions

Business Insights

Integrated Solutions

Value Multipliers

Infosys®

POWERED BY INTELLECT
DRIVEN BY VALUES

インフォシス テクノロジーズ リミテッド
日本支店

〒106-0032東京都港区六本木1-6-3
泉ガーデンウイング2階

TEL:03-5545-3251

FAX:03-5545-3252

Infosys®

No part of this document should be reproduced or distributed without the prior permission of Infosys Technologies Ltd. and the company to whom it is addressed